



平成31年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年9月12日

上場会社名 アゼアス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務経理部部长 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成30年9月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第1四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第1四半期	2,197	1.4	21	107.5	26	3.0	14	15.9
30年4月期第1四半期	2,167	5.0	10		25		12	

(注) 包括利益 31年4月期第1四半期 37百万円 (%) 30年4月期第1四半期 3百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第1四半期	2.61	
30年4月期第1四半期	2.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年4月期第1四半期	7,488	5,240	70.0
30年4月期	7,339	5,260	71.7

(参考) 自己資本 31年4月期第1四半期 5,240百万円 30年4月期 5,260百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期		0.00		10.00	10.00
31年4月期					
31年4月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,647	3.7	84	13.6	95	2.8	58	6.8	10.35
通期	9,800	6.3	282	33.4	294	30.2	177	11.2	31.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年4月期1Q	6,085,401 株	30年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	31年4月期1Q	475,045 株	30年4月期	475,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年4月期1Q	5,610,356 株	30年4月期1Q	5,609,356 株

(注) 期末自己株式数には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(31年4月期1Q 131,900株、30年4月期 131,900株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(31年4月期1Q 131,900株、30年4月期1Q 132,900株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善傾向が継続し、個人消費や設備投資についても回復基調が続く、景気としては緩やかな回復基調となりました。世界経済も、堅調な成長が持続しましたが、米国の政策を中心とした地政学的リスクの高まり等による海外情勢の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業に加え、アパレル資材事業においても増収増益となりましたが、たたみ資材事業においては、前連結会計年度に引続き需要の低迷が続きました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,197百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は21百万円（前年同四半期比107.5%増）、経常利益は26百万円（前年同四半期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同四半期比15.9%増）となり増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、当社の強みであるタイベック®防護服の市場におけるシェア拡大と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。この結果、売上高は990百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は67百万円（前年同四半期比17.2%増）となり増収増益となりました。

たたみ資材事業におきましては、畳表等の利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、需要の低迷が続いており、売上高は313百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同四半期比61.9%減）となり減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、分野別に主要取引先への販売強化と高付加価値商品の販売の拡大に注力しました。この結果、売上高は773百万円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント利益（営業利益）は45百万円（前年同四半期比18.1%増）となり増収増益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は86百万円であります。

(注) 「タイベック®」は、米国デュポン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態に関する説明については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、5,693百万円となりました。これは、主として商品及び製品等の棚卸資産が140百万円増加、前渡金の増加等でその他が203百万円増加し、現金及び預金が106百万円減少、受取手形及び売掛金等の売上債権が65百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、1,794百万円となりました。これは、主として減価償却等有形固定資産が10百万円減少、繰延税金資産の減少等で投資その他の資産が12百万円減少したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて148百万円増加し、7,488百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、1,989百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金等の仕入債務が227百万円増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.7%減少し、257百万円となりました。これは、主として社債が15百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、5,240百万円となりました。これは、主として配当等で利益剰余金が42百万円減少し、繰延ヘッジ損益の増加等によりその他の包括利益累計額が22百万円増加したためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637,984	1,531,628
受取手形及び売掛金	2,373,550	2,263,217
電子記録債権	172,711	217,464
商品及び製品	1,135,466	1,274,311
仕掛品	5,028	2,740
原材料	123,235	127,058
その他	95,749	299,668
貸倒引当金	△22,843	△22,247
流動資産合計	5,520,882	5,693,841
固定資産		
有形固定資産	1,395,369	1,385,346
無形固定資産	95,569	93,502
投資その他の資産		
投資有価証券	138,191	136,507
その他	190,425	179,674
貸倒引当金	△502	△336
投資その他の資産合計	328,115	315,845
固定資産合計	1,819,053	1,794,694
資産合計	7,339,936	7,488,535
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,167,437	1,380,331
電子記録債務	275,163	289,283
1年内償還予定の社債	60,000	45,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	22,433	10,268
賞与引当金	53,700	35,900
その他	151,707	154,192
流動負債合計	1,805,441	1,989,976
固定負債		
社債	15,000	-
長期借入金	37,500	37,500
役員退職慰労引当金	107,480	107,480
役員株式給付引当金	15,880	18,772
退職給付に係る負債	97,651	90,530
その他	-	3,580
固定負債合計	273,512	257,862
負債合計	2,078,953	2,247,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,440,835	3,398,100
自己株式	△266,339	△266,339
株主資本合計	5,156,245	5,113,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,156	20,939
繰延ヘッジ損益	9,972	32,162
為替換算調整勘定	72,609	74,084
その他の包括利益累計額合計	104,738	127,186
純資産合計	5,260,983	5,240,696
負債純資産合計	7,339,936	7,488,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日)
売上高	2,167,721	2,197,620
売上原価	1,762,019	1,779,702
売上総利益	405,702	417,917
販売費及び一般管理費	395,562	396,875
営業利益	10,139	21,041
営業外収益		
受取利息	119	132
受取配当金	1,140	1,097
為替差益	5,649	597
補助金収入	3,588	3,500
その他	5,264	81
営業外収益合計	15,763	5,408
営業外費用		
支払利息	437	211
その他	14	32
営業外費用合計	452	244
経常利益	25,450	26,205
特別損失		
固定資産売却損	-	108
減損損失	107	7
固定資産除却損	0	-
ゴルフ会員権売却損	-	14
特別損失合計	107	129
税金等調整前四半期純利益	25,342	26,075
法人税、住民税及び事業税	4,730	6,267
法人税等調整額	7,938	5,120
法人税等合計	12,668	11,388
四半期純利益	12,674	14,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,674	14,687

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	12,674	14,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,123	△1,217
繰延ヘッジ損益	△9,900	22,190
為替換算調整勘定	△7,375	1,474
その他の包括利益合計	△16,151	22,448
四半期包括利益	△3,477	37,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,477	37,135
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	981,279	332,370	717,115	2,030,765	136,956	2,167,721	—	2,167,721
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	323	24	2,844	3,192	30,558	33,751	△33,751	—
計	981,603	332,394	719,959	2,033,957	167,514	2,201,472	△33,751	2,167,721
セグメント利益 又は損失(△)	57,548	10,972	38,348	106,868	△9,191	97,677	△87,538	10,139

(注)1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△1,056千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△86,481千円であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年5月1日 至 平成30年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	990,290	313,730	773,510	2,077,531	120,088	2,197,620	—	2,197,620
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	70	—	3,169	3,239	33,082	36,322	△36,322	—
計	990,360	313,730	776,680	2,080,771	153,171	2,233,943	△36,322	2,197,620
セグメント利益 又は損失(△)	67,433	4,180	45,279	116,893	△9,573	107,320	△86,278	21,041

(注)1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額6千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△86,285千円であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております